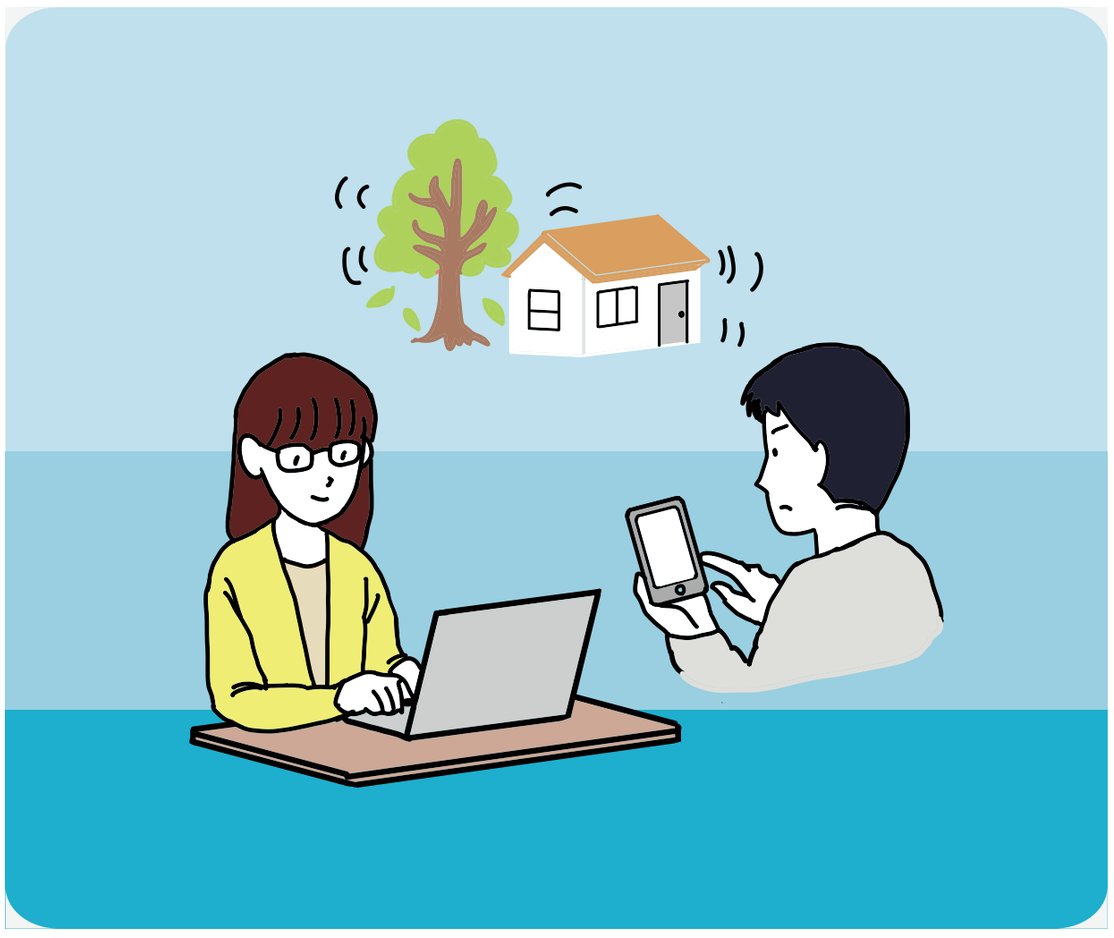
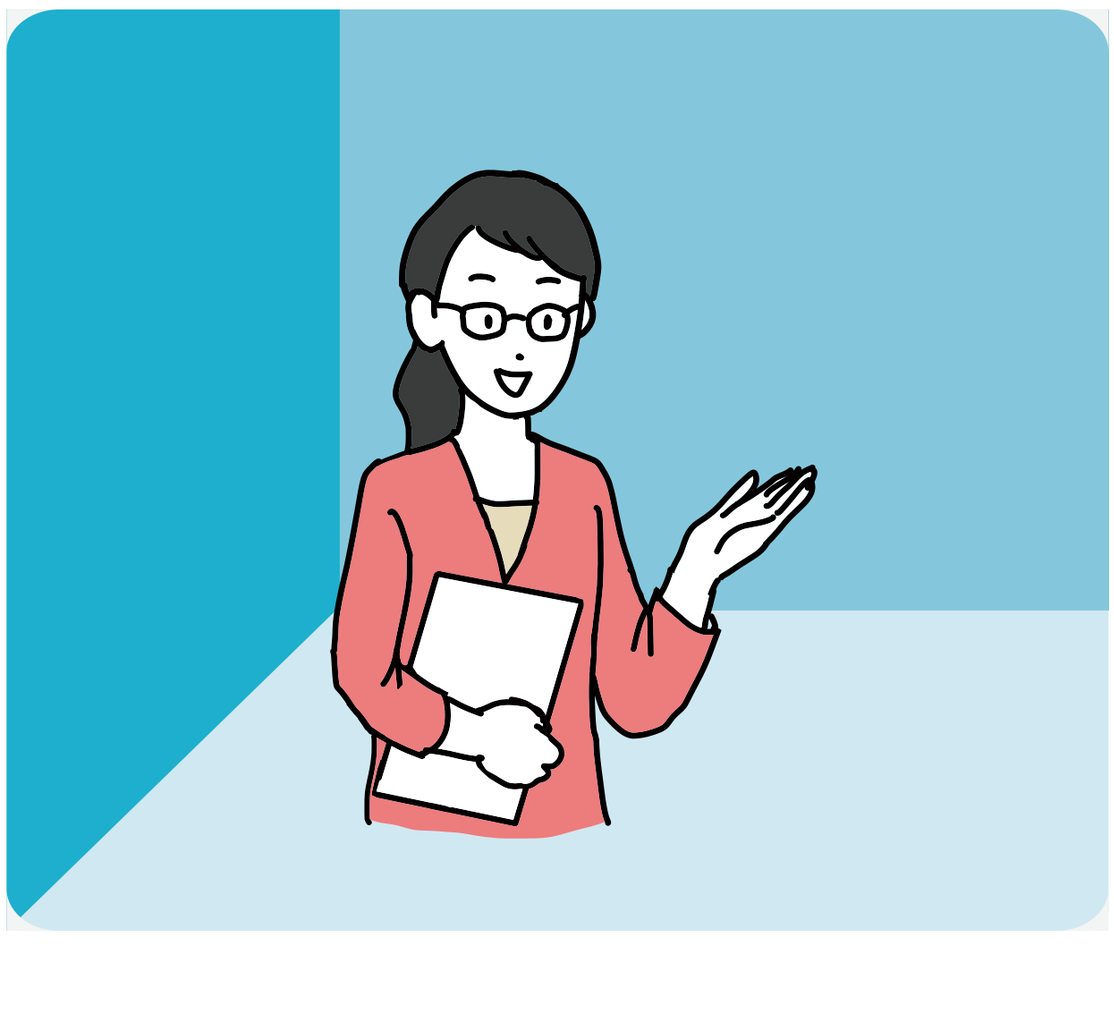
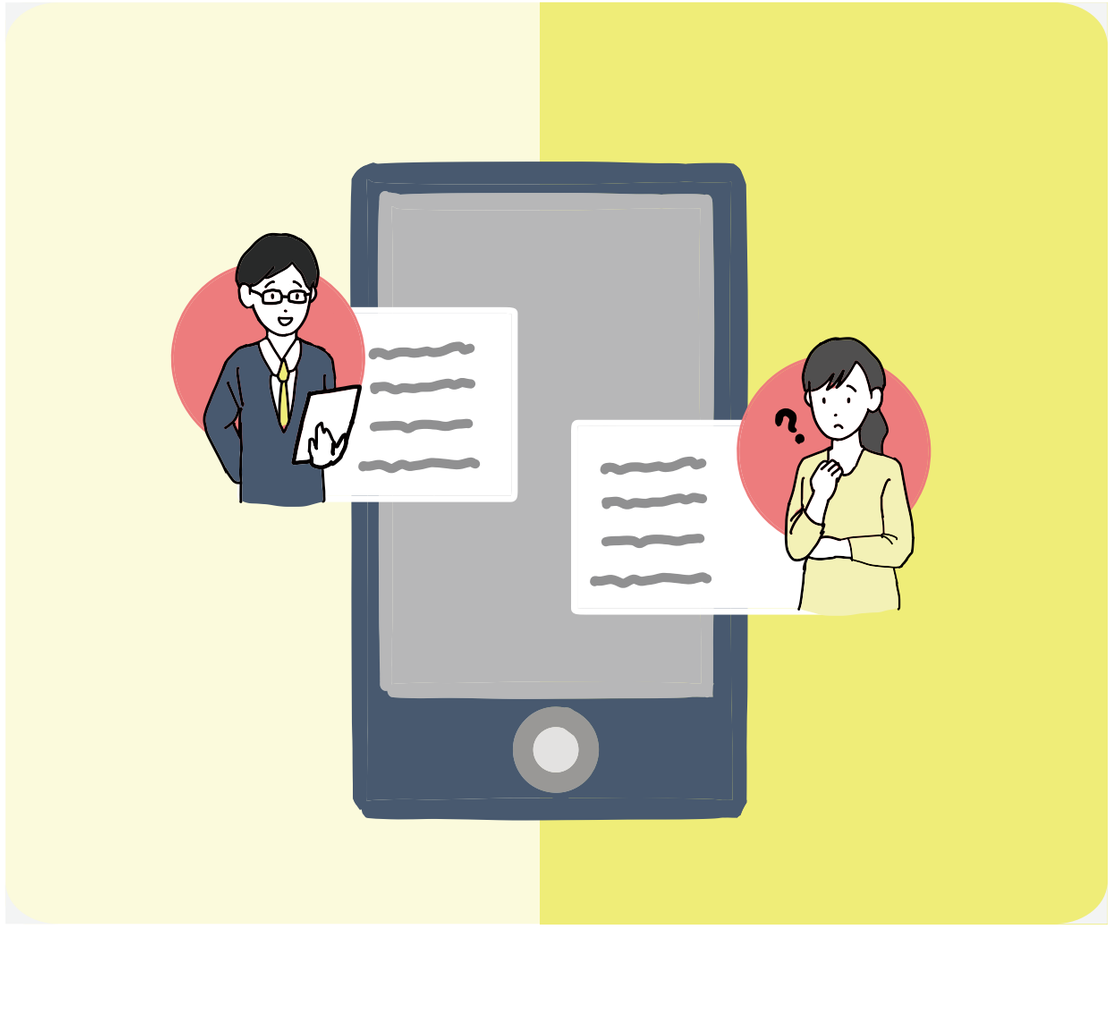
# 座間市 概要版

# DX 推進計画

## 座間市が目指すDXで変わる未来







# 目次

CONTENTS

クリックすると
該当ページに
ジャンプします


1. はじめに

2. DXとは

3. 座間市のミッション

4. 座間市が目指す未来

5. 市民のDX

6. 職員のDX

7. 地域のDX

8. おわりに

# はじめに

近年、デジタル技術の急速な発達により、私たちの暮らしはとても便利になりました。一方で、少子高齢化や人口減少の影響を受け、労働生産力の低下や社会保障の増加といった社会課題が顕著になっています。また、刻々と変化する状況に対応しつつ、豊かな生活を維持し発展させていくため、行政はこれまでのサービスや業務を抜本的に見直し再構築する時期を迎えています。

本市では、時代に沿った先端の技術を効果的に導入し、着実にDXを推進するべく「座間市DX推進計画」を策定しました。市民・職員・地域を軸に三つのビジョンを掲げ、誰一人取り残さない社会の実現を目指します。

DXの取組を成功させるためには、市役所の職員だけでなく、座間市で暮らす市民の皆さんや、座間市に関わる全ての人が同じ方向を向いて進んでいくことが不可欠であり、本計画は、その道しるべとなれば幸いです。

座間市長　佐藤 弥斗

# DXとは

デジタル技術『も』活用して、
住民本位の行政・地域・社会などを
再デザインするプロセス

## たとえば...

| | DX実現前 | DX実現後 |
|---|---|---|
| 市民 | どんな制度があるか<br>わからない<br>行政サービスが不便 | 便利になった！<br>使いやすくなった！ |
| 職員 | 業務に<br>追われている職員 | 時間ができて、<br>新しい政策立案ができた！ |

座間市のミッション

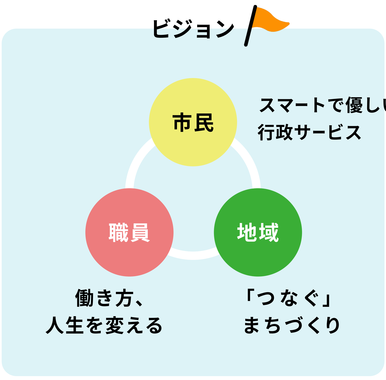
# ひと・まちが輝き
# 未来へつなぐ

市役所の使命は、
第五次座間市総合計画にて掲げる
「ひと・まちが輝き　未来へつなぐ」
まちづくりを実現することです。
市民、事業者、行政が相互に関わり合うことで、
市役所内の人材だけでは
対処が難しかった課題を解決し、
新しい価値を創造していくとともに、
ずっと住み続けたいまち、
そして未来の座間市を担う
人材が育つまちづくりを目指します。

Vision

# 座間市が目指す姿

本計画では、市民、職員、地域の三つの分野において、目指すべき姿として、次のビジョンを掲げます。




## 市民のためのDX

### スマートで優しい行政サービス

世代や生活様式を問わず、ストレスなく十分な行政サービスが享受できるよう、非来庁型市役所としての体制を整備します。また、来庁時の手続における市民の負担も軽減することを目指し、行政サービスを再構築します。

## 職員のためのDX

### 働き方、人生を変える

デジタル技術を活用した業務改革を推進します。職員がやりがいをもって自分らしく働けるという職員本位の視点から、職員それぞれのライフスタイルや、ライフステージに応じた柔軟な働き方ができる体制を整備します。

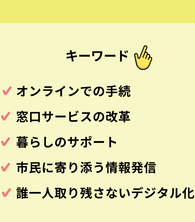
## 地域のためのDX

### 「つなぐ」まちづくり

「地域」を、「多様な価値観が行き交い、世代を超えて人々がつながることができる共生空間」と定義し、地域を通じて人々が互いにつながり、豊かな未来を思い描くことができるまちづくりを目指し、様々な領域で積極的に支援します。

# 市民のDX

## スマートで優しい行政サービスを実現するには？



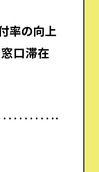
キーワード

- オンラインでの手続
- 窓口サービスの改革
- 暮らしのサポート
- 市民に寄り添う情報発信
- 誰一人取り残さないデジタル化

詳しく見ていこう！

### 1 非来庁型市役所への挑戦

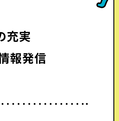
来庁せずに行うことができる手続を更に充実させ、市役所を訪れることなく、パソコンやスマートフォン上で完結できる、非来庁型の市役所を目指します。



方法
- 手続のオンライン化
- 説明・相談窓口のオンライン化
- プッシュ型の行政サービスの実現

### 2 住民本位の窓口サービス改革

手続におけるストレスを最小限に抑え、円滑な案内を実現するため、紙で提出する必要があった申請方法の見直しをはじめ、デジタル技術を活用して窓口サービスを改善します。



方法
- 申請手続のデジタル化
- 総合窓口体制の整備
- マイナンバーカード交付率の向上
- 予約・事前提出による窓口滞在時間の短縮

### 3 ライフステージに応じた暮らしのサポート

保育所、介護施設などの整備や、保育士、介護従事者の確保といった、直接的な解決施策だけではなく、その周辺を取り巻く状況や環境を踏まえ、各部門における需要を見極めながら、広い視野での総合的な対策を検討します。

方法
- 子育て世代を支えるデジタル活用
- 高齢者福祉のDX

### 4 市民に寄り添う情報発信

広報紙や市ホームページでの掲載に加えて、LINE、Twitter等、市民の皆さんに馴染みのあるSNSも活用し、積極的に情報を発信します。



方法
- 市ホームページの充実
- SNS活用による情報発信

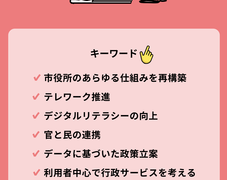
### 5 スマートで優しい、誰一人取り残さないデジタル化

デジタルデバイド対策に積極的に取り組み、デジタル化の流れに対する不安の払拭に努めるとともに、市全体としてのデジタルリテラシーの向上を図り、誰一人取り残さないデジタル化を目指します。

方法
- デジタルデバイド対策

# 職員のDX

## 「働き方、人生を変える」を実現するには？



**キーワード**

- 市役所のあらゆる仕組みを再構築
- テレワーク推進
- デジタルリテラシーの向上
- 官と民の連携
- データに基づいた政策立案
- 利用者中心で行政サービスを考える

詳しく見ていこう！

### 1 聖域なきDXの推進

受付、審査、決裁及び書類の保存をはじめとする庁内におけるあらゆる仕組みを再構築します。AIやRPAといったデジタル技術を活用した業務の自動化や、徹底的なBPR による、業務内容やフローの根本的な見直しを通じて、時間、人員及び財源を捻出し、市民の幸せを実現するための「新しい価値」の創出へと注力できるよう、業務の効率化と、生産性を高める改革を推進します。

方法
- ペーパーレス化に向けた押印・署名の見直し
- 選択と集中によるコア業務への注力
- 業務の可視化とBPRの徹底的な遂行
- 住基・税など20業務システムの標準化

### 2 テレワーク推進

時間や場所にとらわれず、柔軟な働き方の実現する、テレワークの環境整備と、積極的な活用を目指します。在宅勤務、モバイルワーク、サテライトワークという三つの分類から、業務内容と職員の状況に応じて多様な働き方を選択できる体制を整えます。

方法
- テレワーク環境の整備と意識改革

### 3 職員デジタルリテラシーの向上

全職員の情報セキュリティやデジタル技術に関する知識及び能力の獲得に向けた取組を行い、職員それぞれがデジタルの特性や、セキュリティ上のリスクを正しく理解することで、適切にデジタル技術を活用できる基盤を構築します。

方法
- 研修の実施によるデジタルの理解・活用力の向上
- セキュリティ対策の見直し

### 4 官民共創の文化醸成

民間の事業者や、フリーランスといった、市職員以外の人材とともに、市単独では解決できなかった社会課題の解決や、市民の幸せを実現できる新しい形の市役所を目指します。

方法
- 官民共創の心構え・基本的な考え方の獲得
- オープンデータの利活用促進

### 5 データに基づく合理的な政策立案（EBPM）

市が保有している統計データ、民間が保有しているビッグデータ等を部門横断的に活用することで、主観に拠らない、合理的な視点に基づく、政策及び施策を立案します。また、職員の分析スキルの向上や、情報整理のためのツールの導入といった分析基盤を整え、効率良くデータが処理できる体制を構築します。

方法
- DMP(Data Management Platform)の構築による分析環境整備
- EBPMの実現

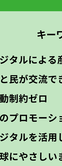
### 6 利用者中心の行政サービス改革

サービスデザイン思考に基づき、サービスを利用しようとした背景や、利用するに至るまでの過程、そして利用後までの一連の流れを、利用者目線で再デザインします。また、職員一人一人が主体性を持ち、サービス品質の向上に取り組む風土を醸成します。

方法
- サービスデザイン思考の実践

# 地域のDX

## 「つなぐ」まちづくり を実現するには？



キーワード

- デジタルによる産業の総合力の強化
- 官と民が交流できる拠点づくり
- 移動制約ゼロ
- 市のプロモーションを強化
- デジタルを活用した防災・減災対策
- 地球にやさしいまち

詳しく見ていこう！

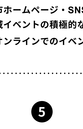
### 1 市内産業の発展支援

市内産業を強化するべく、それぞれのニーズに応じたDXを推進します。デジタル及びデータの活用を促し、事業の効率化による、市内事業者の経営力の向上を図り、新たな雇用を創出するとともに、活発な経済活動を促進します。
同時に、産業のDXを担う企業及び人材育成のための啓発活動を行うことで、デジタルの有効活用による市内の産業の総合力の強化を目指します。

方法
- スマート農業の実現
- 地域の事業支援
- キャッシュレス決済の浸透による経済循環

### 2 官民共創の拠点づくり

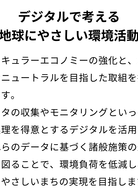
市役所の外に、市職員及び民間企業やフリーランスで活躍する個人が利用可能な共創拠点を設置し、行政と市内外の高度な専門知識を持つ人材の上質な交流を促進します。



方法
- 官と民が交わる空間の整備
- シビックテックによるイノベーションの奨励

### 3 移動制約ゼロのまちの実現

交通機関の連携の強化と輸送率の向上を図り、市民が必要な時に必要な場所へ、スムーズに移動する事ができる交通ネットワークの形成を目指します。




方法
- 持続可能な公共交通網の構築

### 4 シティプロモーションによる交流人口の拡大

「大凧まつり」や、「ひまわりまつり」といった観光資源をはじめ、地域の芸術祭等のイベントのプロモーションを行い、本市を訪れる交流人口の拡大に努めます。

方法
- 市ホームページ・SNSによる地域イベントの積極的な告知
- オンラインでのイベント開催

### 5 危機に備える「座間デジタル防災」

AIによる災害予測及び分析、災害の予兆及び発災の検知、発災時のコミュニケーション体制の整備といったあらゆる視点において、デジタルを効果的に活用した先進的な防災・減災対策に取り組みます。
また、防災情報の定期的な配信等を通じて、市民が高い防災意識を持ち続けることができる風土の形成を目指します。

方法
- 高い防災意識の醸成
- 災害の可能性を事前に検知
- 発災時の迅速且つ的確な情報収集・発信

### 6 デジタルで考える地球にやさしい環境活動

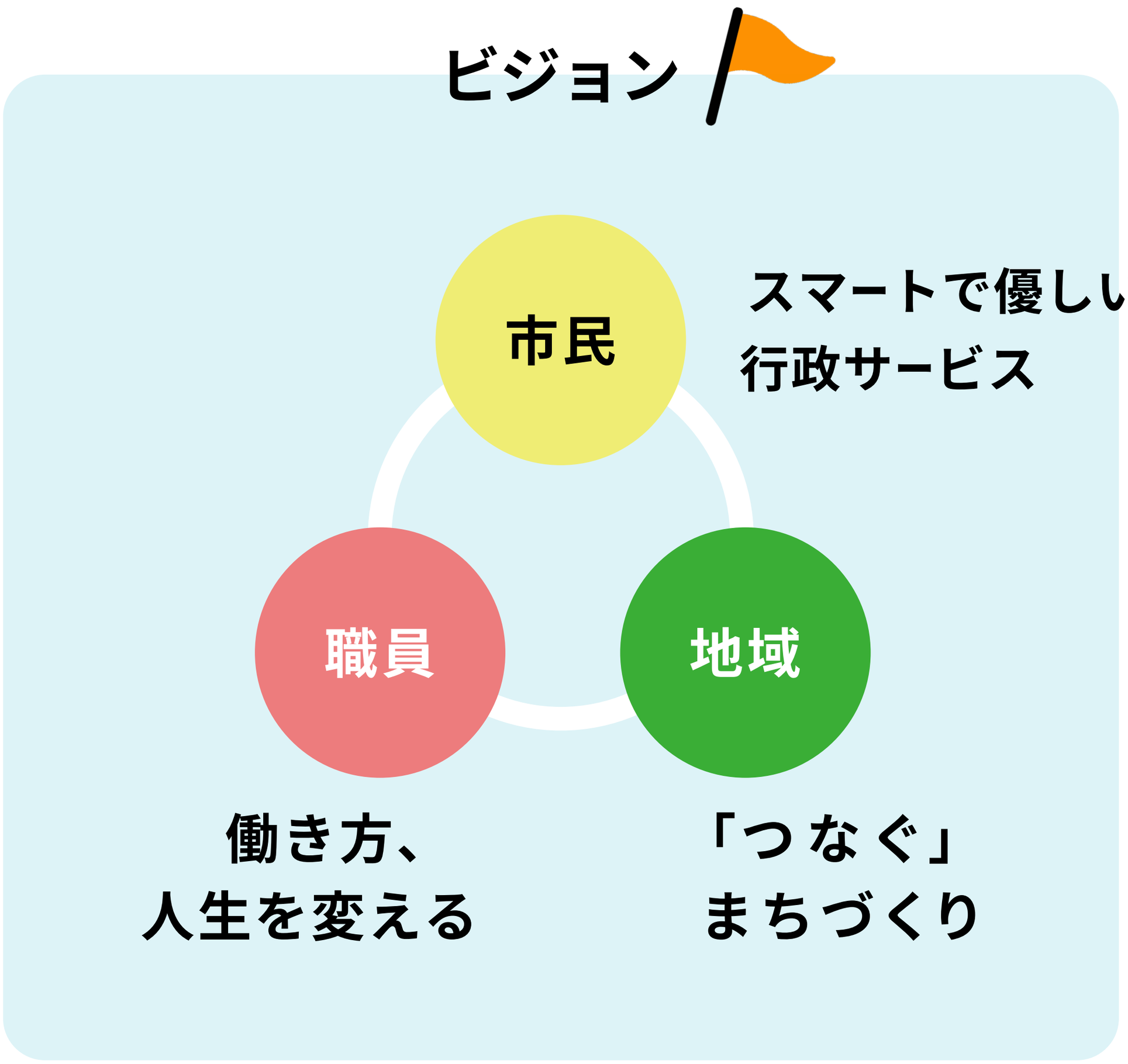
サーキュラーエコノミーの強化と、カーボンニュートラルを目指した取組を推進します。
データの収集やモニタリングといった情報処理を得意とするデジタルを活用し、それらのデータに基づく諸般施策の最適化を図ることで、環境負荷を低減し、地球にやさしいまちの実現を目指します。

方法
- サーキュラーエコノミーの実践
- カーボンニュートラルの実現

まとめ

# 座間市DX推進計画とは？

- ✔ デジタル技術『も』活用して、住民本位の行政・地域・社会などを再デザインするための計画
- ✔ 概ね４か年計画で行われる
- ✔ 市民、職員、地域の、三つの分野でビジョンと施策を掲げ、誰一人取り残さない社会の実現を目指します



# おわりに

デジタル技術は、もはや私たちの生活の一部となっています。スマートフォンで家族や友人と連絡を取り合ったり、パソコンで仕事や調べ物をしたり、まちでの買い物においても私たちの目に見えないところで様々な情報端末同士が連携し、私たちの暮らしを支えています。

このように、特別意識する事なく日常に馴染むように デジタル技術を取り入れた、誰一人取り残さない、優しい行政サービスを実現することこそ、本市が目指すDX の形です。

デジタルという「技術」起点ではなく、「人」を中心に考えたデジタル化で、あらゆる人がより豊かに暮らせるまちづくりを目指します。

本市に暮らす皆さんが、座間市民であることに誇りを持ち、住んでいて良かったと思えるまちの実現に向けて、ともに歩んでいきましょう。

もっとDX推進計画について
詳しく知りたい方はこちら

https://----------

# 座間市DX推進計画 成案

令和５年６月発行

座間市
ZAMA CITY

座間市 総合政策部 デジタル推進課

〒252-8566 座間市緑ケ丘一丁目１番１号
TEL：046(252)8537　FAX：046(255)3550